



関西大学政策創造学部教授

白石真澄さん

1987年関西大学大学院工学研究科建築計画学専攻修了。西武百貨店、ニッセイ基礎研究所を経て、2007年から現職。専門テーマは「バリアフリー」「少子・高齢化と地域システム」。

Marunouchi Career Academy

丸の内キャリア塾

なりたい自分をデザインする

対談

NIKKEI 丸の内キャリア塾スペシャルセミナー「自分らしく、いきいき働く～大人の歯の矯正を知る～」(協賛：日本臨床矯正歯科医会)が11月、大阪・日本経済新聞社大阪本社で開催された。それに先立ち日本臨床矯正歯科医会の富永雪穂会長と自身も歯の矯正経験のある関西大学政策創造学部教授の白石真澄氏が大人の歯科矯正のメリットなどについて話し合った。



公益社団法人日本臨床矯正歯科医会 会長
アルファ矯正歯科クリニック院長

富永雪穂さん

1987年日本大学大学院歯学専攻卒業(歯学博士)、90年アルファ矯正歯科クリニック開業(静岡市)。2012年日本大学歯学部矯正歯科兼任講師、13年日本臨床矯正歯科医会会長に就任。

大人でもできる歯の矯正

きれいな歯並びで積極人生

見た目だけでなく社会心理的な効果も期待できます

富永

富永 社会心理的なメリットといえるでしょう。例えば、クラスで発表したり、先頭に立って行動するということができるようになったり、歯並びがきれいになったり、歯の前の大きな笑顔で振る舞い、積極性も出るようになった。また社会人の場合でも性格が明るくなり、自己積極的に打ち出すことで社会からの受け入れられ方も変わった、などという効果が期待できます。

ライフステージ考え計画を

白石 大人の矯正歯科治療にお勧めのタイミングはありますか。

富永 矯正歯科治療は通常2、3年はかかりますので、引越や就職など生活環境が変わることが予想される方は、例えば大学進学や就職開始までに治療が終了するように、ライフステージのイベントを考慮し、逆算して開始のタイミングを計るのがいいでしょう。私のクリニックでは60歳代くらいまで患者さんがいらしてしまします。そのうち歯並びを治そうというお気持ちには立派ですが、できれば早い時期に、思い立った時に始めておいたほうがよいと思います。

子どもにとっての歯科矯正とは

白石 私の子どもは中学生のときに歯の矯正をしたのですが、子どもの矯正に最適なタイミングはあるのでしょうか。

富永 まだ乳歯が残る小学校低学年のうちに部分的に矯正歯科治療を始めるケース、あるいは小学校高学年以降、永久歯になってからというケースが考えられますが、子どもの歯並びや咬み合わせの状態と、ご本人やご家族の考え方や気持ちとをきちんと確認してから決めたい方がいいですね。つまり歯の矯正治療は本当の意味での緊急性が必要とされるケースはあまりないので、本人が器具をメンテナンスできるか、歯磨きをきちんとできるか、矯正歯科治療の必要性を理解してモチベーションを保てるかなを確認した上で、子どもの負担なども考慮し、判断した方がいいと思います。

白石 子どもがあまり小さいうちだと虫歯のケアは自分で手にはできませんし、なぜ必要かが理解できなければストレスになるかもしれませんね。でも矯正歯科の器具自体はとも進歩して、目立たないものも増えてきたようです。

富永 金属製の器具とワイヤ主体だったものが、ブラスチックやセラミック素材のものに変わり、白いワ

イヤなど近くで見なければわかりにくいものも出ています。さらに歯の表面ではなく裏側に付けるもの、マウスピース型のものなども登場しています。

白石 矯正歯科治療は通常2、3年はかかりますので、引越や就職など生活環境が変わることが予想される方は、例えば大学進学や就職開始までに治療が終了するように、ライフステージのイベントを考慮し、逆算して開始のタイミングを計るのがいいでしょう。私のクリニックでは60歳代くらいまで患者さんがいらしてしまします。そのうち歯並びを治そうというお気持ちには立派ですが、できれば早い時期に、思い立った時に始めておいたほうがよいと思います。

富永 矯正歯科治療は通常2、3年はかかりますので、引越や就職など生活環境が変わることが予想される方は、例えば大学進学や就職開始までに治療が終了するように、ライフステージのイベントを考慮し、逆算して開始のタイミングを計るのがいいでしょう。私のクリニックでは60歳代くらいまで患者さんがいらしてしまします。そのうち歯並びを治そうというお気持ちには立派ですが、できれば早い時期に、思い立った時に始めておいたほうがよいと思います。

白石 矯正歯科治療は通常2、3年はかかりますので、引越や就職など生活環境が変わることが予想される方は、例えば大学進学や就職開始までに治療が終了するように、ライフステージのイベントを考慮し、逆算して開始のタイミングを計るのがいいでしょう。私のクリニックでは60歳代くらいまで患者さんがいらしてしまします。そのうち歯並びを治そうというお気持ちには立派ですが、できれば早い時期に、思い立った時に始めておいたほうがよいと思います。

富永 矯正歯科治療は通常2、3年はかかりますので、引越や就職など生活環境が変わることが予想される方は、例えば大学進学や就職開始までに治療が終了するように、ライフステージのイベントを考慮し、逆算して開始のタイミングを計るのがいいでしょう。私のクリニックでは60歳代くらいまで患者さんがいらしてしまします。そのうち歯並びを治そうというお気持ちには立派ですが、できれば早い時期に、思い立った時に始めておいたほうがよいと思います。

歯の矯正は自分への投資とも考えられますね

白石

「自分らしく、いきいき働く～大人の歯の矯正を知る～」

seminar & talk session

年齢を問わない矯正歯科治療 仕事、結婚などとも両立可能

専門サイトで情報収集

富永雪穂氏による基調講演では「よい歯並びと咬み合わせで健康で魅力的な人生を」と題し、歯並びが悪いと歯周病になりやすい傾向があること、ひいては全身疾患や健康への障害へとつながる可能性があること、さらにセルフイメージや自尊心を損ない社会生活への障害にもなることが指摘された。さらに良いクリニックの選び方として常勤の矯正歯科医師がいること、知人の評価や地域の評判、また日本臨床矯正歯科医会や「日本臨床矯正歯科医会」のホームページなどで情報を収集することが勧められた。

矯正歯科学会」のホームページなどで情報を収集することが勧められた。続いてのゲスト講演では東京歯科大学歯学部矯正学講座講師・宮崎晴代氏が演壇に立ち「なりたい自分への一歩、大人の女性にお勧めする矯正歯科治療の実践」をテーマに、まず正しい歯並びとは何かについて、前後左右上下のバランス、歯間のスペース、口元の形状、歯・歯周組織の状態、咀嚼・会話などの機能に異常がないかなどがポイントになると説明。また実際の治療の様子をスライドに映し、症状や患者の状況に合わせ様々な治療法があることが紹介された。さらに治療後リテーナーなどを使用し、きちんとメンテナンスしていくことの重要性も指摘された。仕事・結婚・出産・習い事・留学・転職など人生のイベントにおいていずれも矯正は両立可能と、働く女性を応援した。

高齢化に備えた矯正を

パネルディスカッションでは富永、宮崎両氏に白石真澄氏、コーディネーターの木早希氏が加わり、「あなたの疑問にお答えします」大人の歯の矯正を知る」をテーマに、会場から寄せられた質問に答える形で進められた。「矯正にかかる費用は、保険は利きますか」という質問に対し富永氏は「唇顎口蓋裂(しんがく)がこれといった指摘がない患者さん、また約30種類の先天性疾患に起因する不正咬合(こうごう)が健康保険適用となっている。また成人の患者さんで保険適用になる最も多いものとして、矯正歯科治療と顎の手術が必要となる顎変形症がある。しかしこれら以外の患者さんは保険給付外の自費診療となり、治療費は平均で60万～100万円くらい」と回答。「年齢は何歳まで可能か」という疑問に対しては「健康な歯と歯茎があれば年齢は問わない。68歳の患者もいる」と宮崎氏から実例を挙げて説明があった。

八木氏は「アナウンサーを目指す人は大学3年くらいまでに矯正を終えるケースが多い」と、矯正に対する計画的、前向きに取り組んでいる同僚の姿を紹介し、高齢者問題を研究する白石氏からは、90歳まで生きる時代に歯をきちんと治すことは自分の将来に備える大事な投資だという指摘があり、会場には大きくうなずく姿があった。

スペシャルセミナーでは専門家による講演、そしてゲストを招いてのパネルディスカッションが開催され、会場から寄せられた歯の矯正をめぐる様々な不安や疑問について、わかりやすく解説がされた。



よい咬み合わせときれいな歯並びで心身の健康を

日本臨床矯正歯科医会は「正しい矯正歯科治療」に取り組んでいます



矯正歯科治療に特化した歯科医を「オルソドントティスト」と呼びます。オルソドントティストになるには、歯科大学に6年通い、臨床研修を修了して歯科医師国家試験に合格後、大学付属病院の矯正科や矯正歯科開業医のもとで矯正学の理論と臨床に関する専門的な指導を受け、自己研さんを積む必要があります。

公益社団法人 日本臨床矯正歯科医会は、矯正歯科専門開業医が所属する国内最大の団体。正会員になるには、5年以上の矯正歯科治療の臨床経験を有

する矯正歯科治療の専従医であることに加えて、所在地の会員1人を含む会員3人以上の推薦を受けるのが条件です。同会の大きな特徴は患者本位のサポート体制。治療中に転居した場合に対応した「矯正歯科医変更に関する規程」を策定し、転居先の紹介および転居資料の提供、さらに治療費については同会の取り決め事項に沿って精算あるいは返金されます。万が一、主治医が診療できなくなった場合も、会員医院の紹介を受けて治療が続けられます。会員医院はホームページで検索できます。

矯正歯科治療中の方対象の笑顔フォトコンテスト 「ブレースマイルコンテスト」を開催

日本臨床矯正歯科医会では2005年より毎年、矯正装置(ブレース)のついた方対象に笑顔の写真コンテスト「ブレースマイルコンテスト」を実施している。「日に日に歯並びが整っていくのがうれしくて、つつい笑顔になる」という治療中の患者さんのすてきな表情を見てほしい。第9回となる2013年度は「希望あふれる笑顔」がテーマ。全国から236作品の応募があり、東京都の山本俊太郎さんが最優秀賞を受賞した。



2013年度最優秀賞(上)、優秀賞2点(右)

